

EENOUR



電動アシスト自転車C1
取扱説明書

はじめに

このたびは、電動アシスト自転車C1をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。





誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読して理解してからで使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。

 警告	誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
 注意	誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。
 禁止	取扱においてその行為を禁止します。
 指示	指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

※製品の仕様変更などで予告なく変更される場合がございます。ご注意ください。

目次



安全にお使いいただくために	01~12
•バッテリーに係る安全事項	01
•充電器に係る安全事項	02
•充電に係る安全事項	02
•自転車に乗る前に	03
•安全上のご注意	04~08
•使用上のお願い	09~10
•走行について	11~12
•保管とメンテナンスについて	12
各部の名称	13~14
梱包部品一覧	14
展開について	15
•ハンドルの取付け	16
•ハンドルの角度調整	17
•バッテリーケーブルの接続	18
•ペダルの出し方	18
•ボトルケージ(別売り)やボトルバッテリー(別売)の付け方	18
折りたたみ方	19~20
充電について	21~22
•充電器	21
•内蔵バッテリー充電について	21
•内蔵バッテリーを取り外して充電	21~22
•バッテリーの交換と廃棄について	22
•液晶マルチファンクションメーター	23
•ギアチェンジ	24
•ブレーキのかけ方	24
•L1ブレーキランプ(別売り)	25~26
•チューブバルブについて	27
•車体番号の確認方法	27
•最大積載重量について	27
•ボトルバッテリー(別売り)の使い方	27~28
よくあるトラブル	29
保証内容について	30~31
主要諸元	32
販売証明書	33
保証書	34

安全にお使いいただくために



誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
下記を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

バッテリーに係る安全事項

警告



 禁止	<ul style="list-style-type: none">・必ず専用充電器で充電し、自動車等の充電器を使用しないでください。・バッテリーの充電中は、バッテリーを毛布等で覆わないでください。・バッテリーを本製品以外に使用したり、分解・改造をしないでください。・バッテリーを湿度の高い場所に放置しないでください。短絡する恐れがあります。・バッテリーを高所から落とす等、外部から強い衝撃を与えないでください。・バッテリーを火の中に投入したり、過熱状況下で使用、保管、充電しないでください。・周囲温度が10℃未満、或いは周囲温度が40℃以上ではバッテリーを使用、保管、充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。・内蔵バッテリーが液漏れした場合は素手で触らないでください。 <p>万が一目に入った場合は目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗って医師にご相談ください。 身体や肌などに付いた際は、きれいな水で洗って、かゆみなどがある場合は医師にご相談ください。</p>
 指示	<ul style="list-style-type: none">・充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。・リチウムイオンバッテリーを廃棄する際は、必ずお住まいの地域の回収方法に従って廃棄してください。・ペットや子供の手の届かない場所に保管してください。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・傷や、外傷がある場合は使用しないでください。・使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・バッテリーは消耗品です。使用環境によって容量が低下する場合があります。満充電にしても走行距離が著しく短くなった場合は、バッテリーの交換が必要になります。・低温状況下では、リチウムイオンバッテリーの消耗が速くなり、走行距離が短くなる可能性があります。・リチウムイオンバッテリーを長期間ご使用にならない時は、満充電の状態にし直射日光が当たらない涼しい場所に保管してください。 <p>ご使用にならない場合でも1ヵ月に一度は充電をしてください。</p>



充電器に係る安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・分解、改造は絶対にしないでください。・充電器の上に物を載せたり、挟んで固定しないでください。・充電器及びコードを踏んだり、落下させたり、衝撃を与えないでください。・充電器が破損した状態で使用しないでください。電源コードが破損するようなことをしないでください。(傷つける、加工する、熱器具に近づく、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど。)傷んだまま使用すると、感電・故障・火災の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・充電器の充電プラグや電源プラグは根元までしっかりと挿込んでください。・充電器を持ち運ぶ時、あるいは郵送する時は、衝撃で損傷しないように緩衝材に包んでください。・充電器の端子や電源プラグにほこりがたまらないよう定期的に乾いた布で拭いてください。・充電器をご使用の際は、乾燥した清潔な場所でお使いください。液体や金属くずが充電器内部に入らないようにしてください。

充電に係る安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・家庭用100V-240V交流電源以外での使用はしないでください。・充電の際は、本製品付属の充電器をご使用ください。その他の充電器をご使用になった場合、バッテリーが損傷することがあります。・濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の恐れがあります。・充電する時は、乳幼児やペットがいる場所で行わないでください。・屋外や高温な場所で充電しないでください。・充電する時は引火物の近くで充電しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・充電する時は本体の電源スイッチを切ってください。充電器の充電プラグをバッテリーに接続し、電源プラグをコンセントに挿込んでください。・充電完了後はコンセントから電源プラグを抜いてから本体の充電プラグを抜いてください。・充電中に異音・異臭・煙が発生した場合はただちに充電を中止してください。・充電後は必ず保護キャップをしっかりとはめてください。・バッテリー内蔵シートポストを本体から取外して充電する際は、必ず寝かせて充電してください。

自転車に乗る前に

警告



禁止

- ・本製品は、日常生活用としてデザインされた自転車です。業務用として使用しないでください。
- ・本製品にチャイルドシートを取付けないでください。
- ・ハブステップなどの突起物を装着しないでください。
- ・パンクした状態や空気圧の少ない状態で走行しないでください。
- ・滑りやすい靴やかかとの高い靴、厚底靴を履いて乗らないでください。
- ・注油禁止場所（リムやブレーキ部分など）に注油しないでください。ブレーキが利かなくなり、衝突や転倒による怪我の恐れがあります。
- ・ハンドルやサドルの高さ調整をする場合は、限度線を超えた調整はしないでください。破損したり脱落したりして、怪我をする恐れがあります。
- ・純正部品以外のアクセサリーを使用しないでください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。



指示

- ・走行前にバッテリー残量、ブレーキ、ガタつき、タイヤの空気量を確認してください。
- ・サドルは足のつく高さに調整してお乗りください。
- ・サドルを調整した後はシートピンをしっかりと締めつけ、固定されていることを確認してください。
- ・ブレーキの効きが悪い場合は、付属の工具を使って調整するかサイクルショップに依頼してください。
- ・チェーンを確認し、たるんでいる時はサイクルショップにて調整を依頼してください。
- ・ハンドルを操作する際に、動きにくかったり引っかかることがないかご確認ください。
- ・ライトに汚れや破損、タイヤのスポークが折れたり、外れたり、変形していないことをご確認ください。
- ・タイヤがガタついていないか、正常に回転しているかをご確認ください。
- ・バッテリーケーブルが確実に接続されているか確認してください。走行中に落ちたりすると、怪我や事故につながる恐れがあります。
- ・各部にガタつきや緩み・変形・ひび割れなどがいないか確認してください。異常がある場合は乗らないでください。
- ・タイヤは接地面（トレッド）の溝がなくなる前にタイヤ交換をしてください。
- ・リヤキャリアに荷物を固定する場合は、ひもやベルトが車輪に巻き込まれないようしっかりと固定してください。

注意



指示

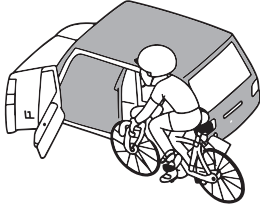
- ・怪我をせず、他の人に迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守ってください。
- ・安全のため、ヘルメットを着用してください。
- ・万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。（加入義務化の地域もありますので、ご使用先の自治体にご確認ください）
- ・乗る前に必ず自転車を点検してください。
- ・自転車を自分の体に合うように調整してください。
- ・動きやすい安全な服装で乗ってください。
- ・大切な自転車を守るため防犯登録をおすすめします。

警告

交通事故を防ぐために

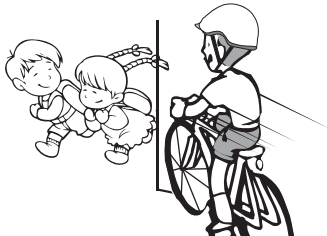
車の横を走るときは！

■開くドアや人の飛び出しに注意する※



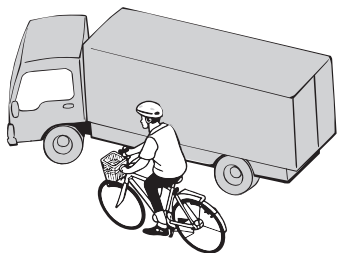
学校や公園が近くにあるときは！

■子供の飛び出しに注意する※



交差点を通るときは！

■左折車に巻き込まれないように注意する※

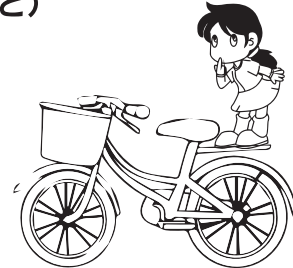


※事故による重大なけがのおそれ

禁止

転倒事故を防ぐために

■走行以外に使わない(踏み台代わりなど)



(転倒によるけがのおそれ)

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない



(車輪に巻き込まれ、車輪の異常ロックや転倒によるけがのおそれ)

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない



(カーブでつま先がフロント車輪に当たり転倒によるけがのおそれ)

⚠ 禁止

転倒事故を防ぐために

- 傘やステッキ、釣りざおなどを車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない



(車輪に巻き込まれ、車輪の異常ロックやほかの人や物にぶつかり事故や転倒によるけがのおそれ)

- 停車中はペダルに足を乗せない



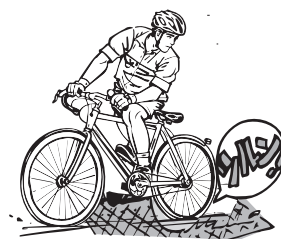
(不用意なアシスト力が働き、転倒や接触事故によるけがの恐れがあります。)

- 手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだりしない



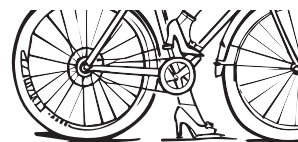
(荷物やひもが、車輪に巻き込まれ、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれ)

- 滑りやすい所では乗らない(積雪や凍結した道・ぬれた路面・石板(大理石など)・マンホールや側溝のフタ・路面上の表示(白線など)・タイル張りや点字ブロック・路肩の砂や砂利・ぬかるみなど)



(スリップして、転倒によるけがのおそれ)
⇒降りて、押して歩いてください。

- 滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない



(ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれ)

- カーブで曲がる側のペダルを下げない

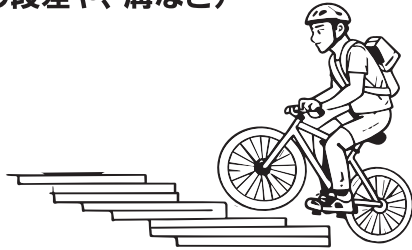


(ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれ)

⚠ 禁止

転倒事故を防ぐために

■凹凸の激しい所を走らない(歩道の段差や、溝など)



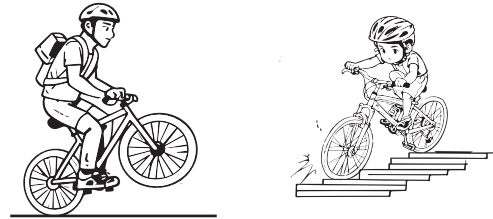
(フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれ)
⇒降りて、押して歩いてください。

■合図以外は、ハンドルから手を離さない



(バランスを崩し、転倒によるけがのおそれ)

■アクロバット的な乗りかたはしない



※(転倒や落車によるけがのおそれ)

■雨・風・雪のひどいときは乗らない



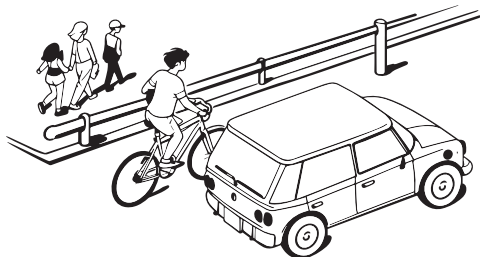
(バランスを崩したり、スリップすることで転倒によるけがのおそれ)
⇒雨の降り始めでも、路面の一部がぬれ、滑りやすくなります。乾いた路面からぬれた路面に入るときはスリップによる転倒に注意してください。

⚠ 自転車の交通安全ルールについて

■違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

自転車は、車道通行が原則です

●歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。



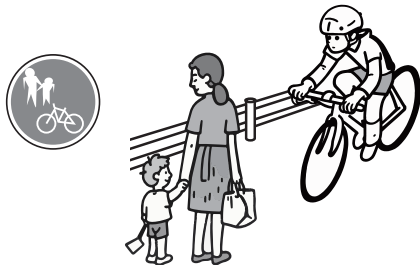
交差点では一時停止と安全確認を

●一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
●信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。



次の様な場合は、歩道通行ができます
(その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)

●自転車歩道通行可の標識などで指定されている場合。
●運転者が児童、幼児などの場合。
●車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。



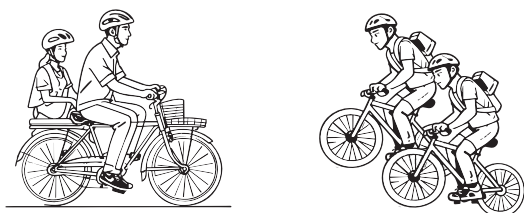
夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

●夜の無灯火運転は交通違反です。
●暗いところではライトを点けて通行しましょう。



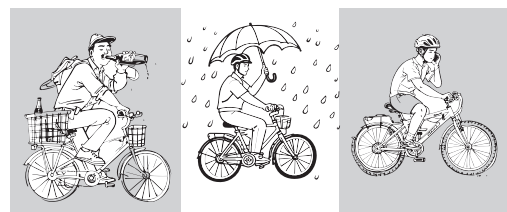
二人乗り、並進は禁止

●6歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。
●「並進可」標識のある場合以外は並進は禁止です。



次の様な運転はやめましょう

●飲酒運転
●携帯電話を操作しながらの運転
●傘さし運転
●ヘッドフォンを使用しながらの運転



⚠ 自転車の交通安全ルールについて

■乗るまえに

まず体に合わせてください

- 円滑なペダリングができる。
- ブレーキや変速機が確実に操作できる。
- ハンドル操作が容易にできる。



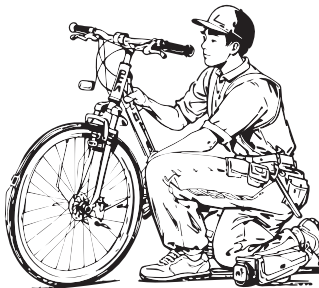
乗る練習は必ず行ってください

- 練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
- よく練習してから一般道路でお乗りください。



まず点検をしてください

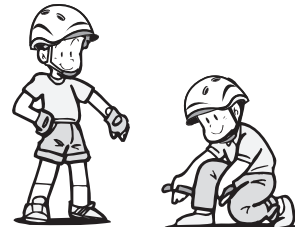
- 必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
- わからないときは販売店に相談してください。
- 未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。



安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)

- ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
- 児童(13歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。



乗ったあとは

決められた場所に駐輪してください

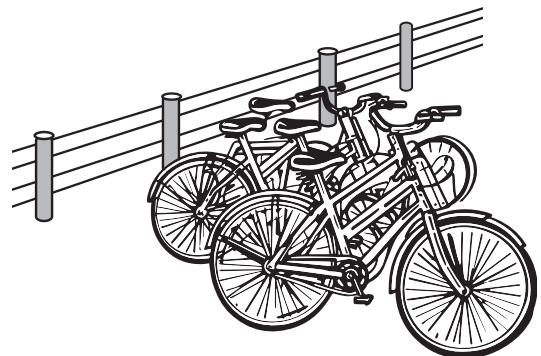
- 駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所に止めましょう。
- 盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。

駐輪場



自転車放置禁止

- 自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。



使用上のお願い

必ずお守りください

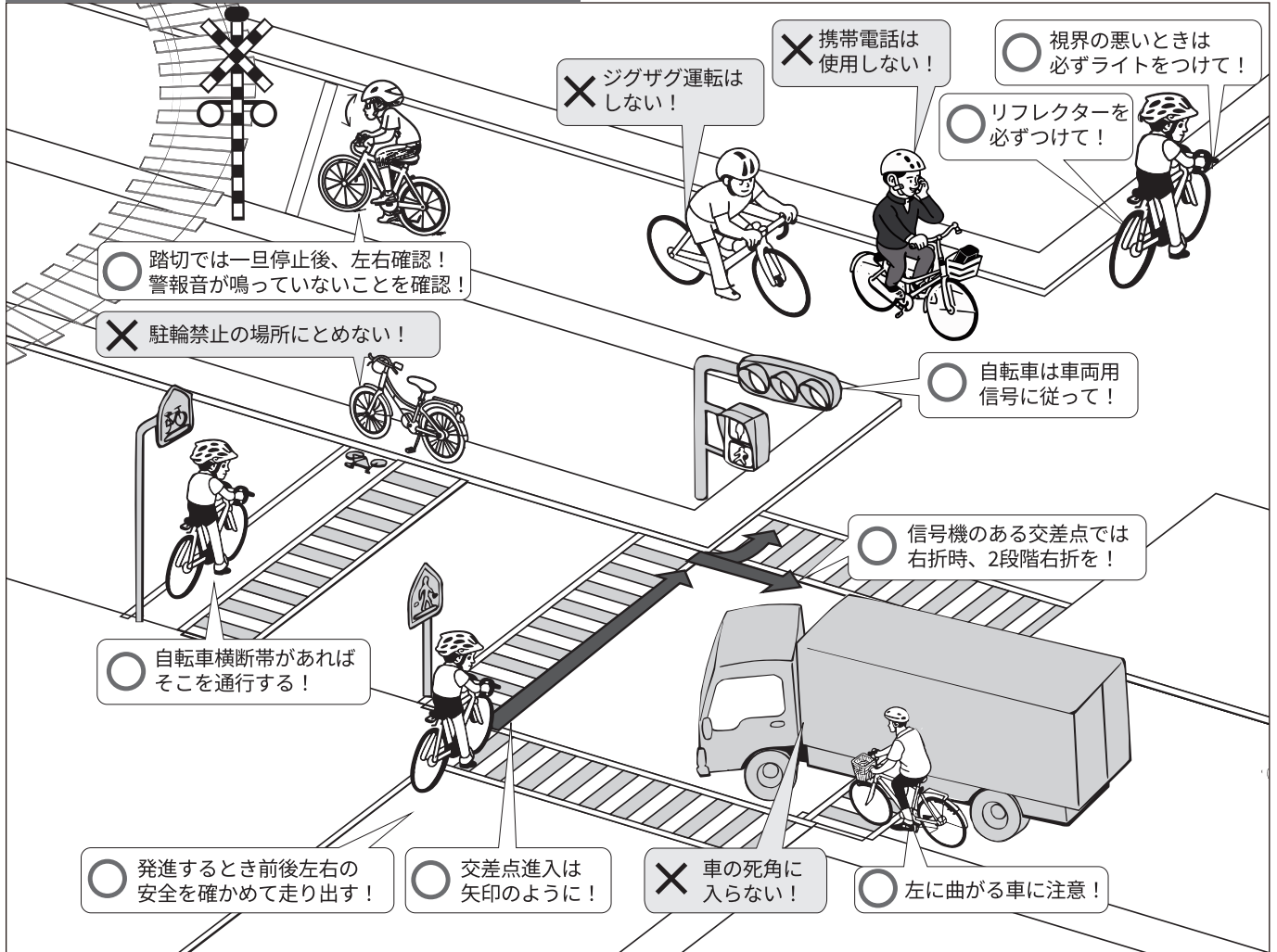
ご使用のまえに

けがをせずに、ほかの人にも迷惑をかけないために、乗りかた・交通ルール・道路標識を守りましょう。

●安全のため、自転車用ヘルメットを着用してください。

●万一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。(加入義務化の地域もありますので、ご使用先の自治体にご確認ください)

自転車で道を走るときのルール・マナー



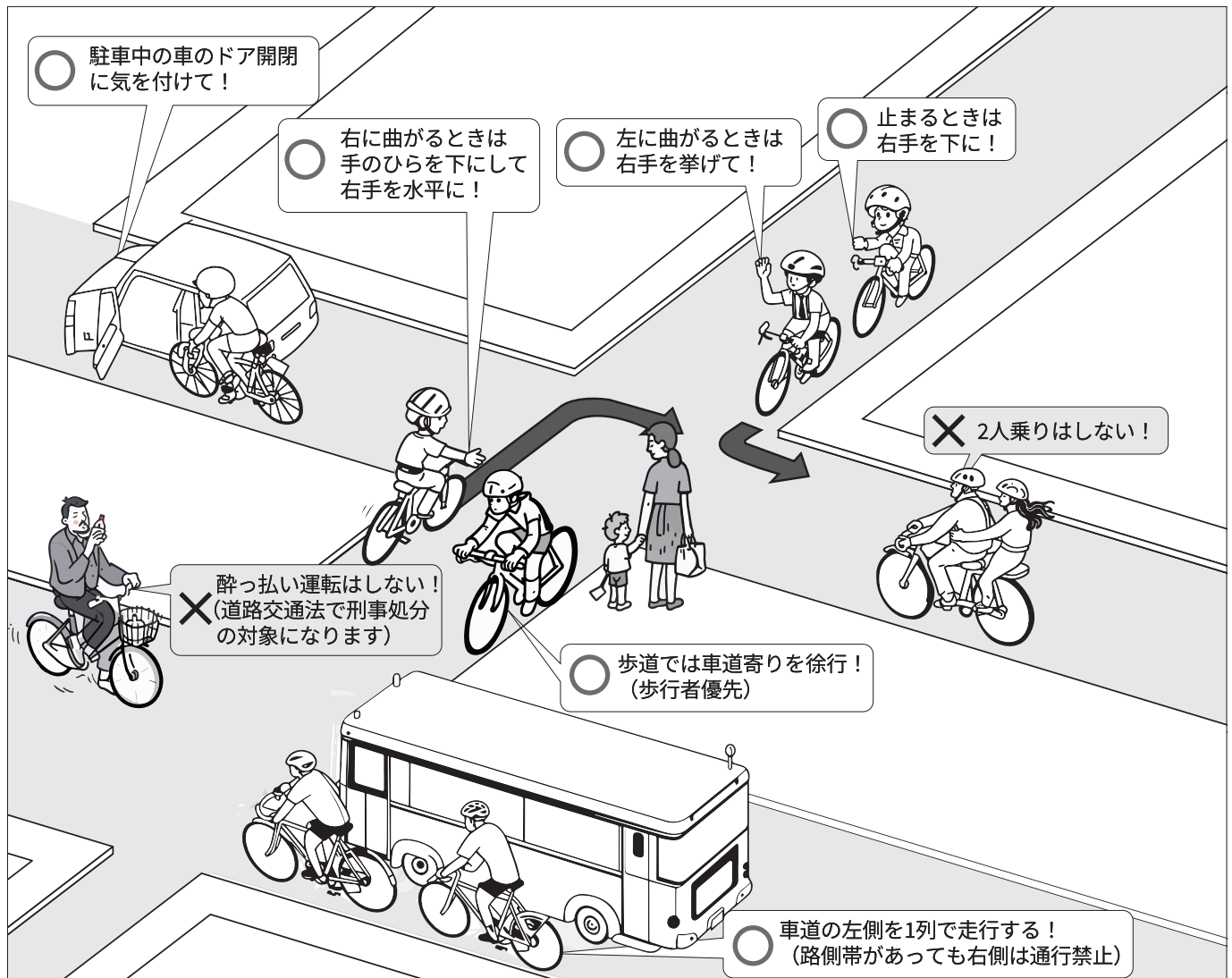
自転車運転者講習の対象となる危険行為

- 信号無視
- 指定場所一時不停止等
- 酒酔い運転
- 歩道通行時の通行方法違反
- 遮断踏切立入り
- 制動装置(ブレーキ)不良自転車運転
- 通行禁止違反
- 交差点安全進行義務違反等
- 通行区分違反
- 歩行者用道路における車両の義務違反(徐行違反)
- 交差点優先車妨害等
- 安全運転義務違反
- 環状交差点安全進行義務違反等
- 路側帯通行時の歩行者の通行妨害
- 妨害運転(交通の危険のおそれ)

自転車安全利用五則

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
5. ヘルメットを着用

自転車で道を走るときのルール・マナー



電動アシスト自転車・一般自転車は、道路交通法上「軽車両」となります。違反をすると、道路交通法の罰則を受けることがあります。違反行為を2回以上摘発されると、自転車運転者講習を受講する必要があります。受講命令に従わなかった場合、罰金が科せられます。

*自転車運転者講習制度の詳細については、警察庁ホームページ
(<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bicycle/info.html>)
を参照ください。

走行について

警告



禁止

- ・小さなお子様、妊婦の方、飲酒した時等、自転車の走行に不適切な状況での使用はお止めください。
- ・二人乗り、並走、イヤホンを付けての走行、スマホを見ながらの走行はお止めください。
- ・階段や歩道の段差や溝など、凹凸の激しい場所を走らないでください。
- ・走行時ワイヤ錠を車輪の近くやハンドルにぶらさげないでください。
- ・カーブを曲がる側のペダルを下げた状態で曲がらないでください。
- ・大雨やモーターが水に浸かるような水深の深い場所は走行しないでください。
- ・けんけん乗りをしないでください。アシストが作動して、車体だけが前に進み、身体が取り残される可能性があります。
- ・スタンドを下ろした状態で走行しないでください。
- ・手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだりしないでください。
- ・傘やステッキ、釣りざおなどを車体に挿込んだり、釣り下げて乗らないでください。
- ・車輪やチェーンなどの回転部に手や足を近づけないでください。
- ・ロングスカートやマフラーなど、巻き込みやすいものを車輪やギアに近づけて乗らないでください。
- ・ハンドルから手を放したり片手で運転しないでください。バランスを崩し、転倒による怪我の恐れがあります。
- ・滑りやすいところで走行しないでください。
- ・風邪薬を服用、又は体調不良時は本製品を使用しないでください。
- ・必ずサドルにまたがって発進してください。
- ・発進の際はペダルを強く踏み込まないよう、速度に十分ご注意ください。
- ・急ハンドル、急ブレーキはしないでください。
- ・自転車が完全に止まるまでは飛び降りないでください。



指示

- ・必ず開錠してから走行してください。
- ・周囲の安全確認を行ってから走行してください。
- ・トンネル内や夜間の走行では必ずライトを点灯してお乗りください。
- ・ペダルを踏むと電動アシスト機能が働きます。安全のため走り始めはアシストレベルを1に下げ、徐々に上げるようにしてください。
- ・ブレーキ使用時は、先に後輪ブレーキをかけるようにしてください。
- ・自転車の消耗品（ブレーキパッド等）が消耗した場合は交換してください。
- ・ギアの変速は1段ずつ変速してください。
- ・シートがガタついている時は、付属の工具を使って固定し直してください。
- ・バッテリー内蔵シートポストの盗難にご注意ください。
- ・ボトルバッテリーには鍵が付いていないため、降車時は付けたままにせず持ち歩いてください。
- ・停車している時は、前後輪ブレーキをかけ、ペダルに足を乗せないでください。
- ・夜間走行前は必ずバッテリーの残量を確認してください。ライトはバッテリーの電源供給で点灯します。
- ・バッテリー残量が低下した場合は、しばらく経つとアシスト走行ができなくなり、ライトが消灯します。
- ・消灯後の走行は怪我や事故になる恐れがあるため法令により禁止されています。

⚠ 注意



指示

- ・電動アシスト自転車に慣れるまでは、なるべく車の通りが少なく広い場所で、十分に練習してください。
- ・走行中に万が一バッテリー残量がなくなったとしても、そのまま通常自転車として走行できます。夜間や暗い場所で使用する場合は、ライトは点灯しませんので、自転車から降りて、押して歩いてください。安全に十分ご注意ください。
- ・交通ルールを守って走行してください。
- ・路面の状況が悪い場合はスピードを出さずにゆっくり走行してください。
- ・自転車の放置は他の人の迷惑になるのでやめましょう。

保管とメンテナンスについて

⚠ 注意



指示

- ・湿気の多い場所、高温の場所、腐食性の気体がある場所等は避けて保管してください。
- ・直射日光や雨に長時間さらさないでください。
- ・ボルトやチェーンの緩み、シャフトの状態、空気圧などを定期的に検査しメンテナンスしてください。
- ・自転車を運ぶ時はボトルバッテリーを外してください。

各部の名称

パーツの名称



①ハンドル	⑨折畳ペダル	⑯内蔵バッテリー & シートポスト
②ハンドルポストクランプ	⑩トルクセンサー	⑰マッドガード
③折畳ハンドルポスト	⑪給電ポート	⑱後ろブレーキ
④ハンドルポスト固定レバー	⑫充電ポート	⑲マグネット
⑤前照灯	⑬シートクランプ	⑳後ろタイヤ
⑥サスペンション	⑭サドル	㉑スタンド
⑦前ブレーキ	⑮リフレクター	㉒ボトルケージ(別売り)
⑧前タイヤ		

ハンドル部の名称



⑳リフレクター	㉒液晶マルチファンクションメーター	㉑前輪ブレーキレバー
㉒後輪ブレーキレバー	㉓外装7段変速インジケーター	㉔シフトレバー【1 → 7】
㉓グリップ	㉔ベル	㉕シフトレバー【7 → 1】

後ろタイヤまわりの名称



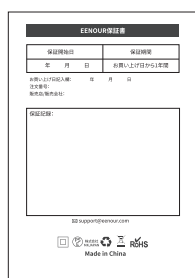
③② モーター	③⑥ ほこり防止キャップ	④① フレーム固定レバー
③③ 後ろタイヤ	③⑦ サドルロック	④② チェーン
③④ ギア	③⑧ サイドライト	④③ ホイールリフレクター
③⑤ リフレクター	③⑨ 固定レバーロック	④④ ディスクブレーキ

梱包部品一覧

自転車本体のほかに、下記のものがすべて含まれていることをご確認ください。



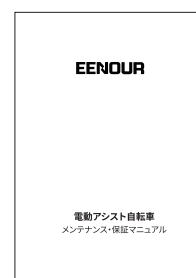
販売証明書



保証書 (奥付)



取扱説明書



メンテナンスマニュアル



L型六角レンチ



充電アダプター



基本工具セット



バッテリーロック

ご注意: ボトルケージ、ブレーキランプとリアキャリアライトはオプション品 (別売) です。

展開について

⚠ 注意

- 作業は、自身や周囲の確認をしながら安全に行ってください。
- 開封の際は広いスペースを確保してから行ってください。
- 各部のパーツが確実に装着されていることを確認してください。装着とロックが不十分だと、怪我や事故につながる恐れがあります。
- 組立てが完了したら、接続部分がしっかりとロックされていることを確認してください。
- ハンドルポストを起こす際に手を挟まないように注意してください
- ペダルを押し込む際に車体が倒れないよう注意してください。

1 本体を少し開きスタンドを立てます。



2 更に開きフレームを一直線にします。



3 フレーム固定レバーを押すとロックがかかります。



⚠ 注意：指を挟まないよう十分ご注意ください。

ハンドルの取付

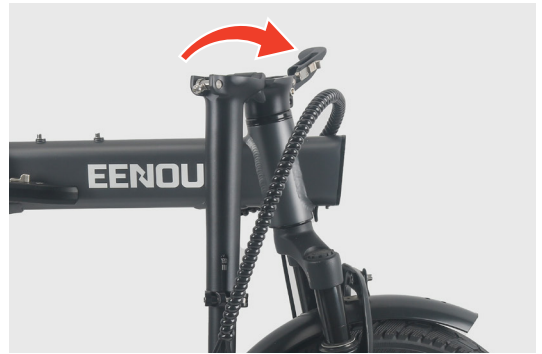
1 ハンドルポストピンを解除します。



2 ハンドルポストをフレームに差し込みます。



3 ハンドルを起こします。



4 ハンドル固定レバーを閉めます。



ハンドルの角度調整

- 1 ハンドル固定レバーを解除します。



- 2 ハンドルを操作しやすい位置に回します。



- 3 ハンドル固定レバーをロックします。



- 4 液晶マルチファンクションメーターのバンド部の六角ボルトを付属の工具で少し緩めます。



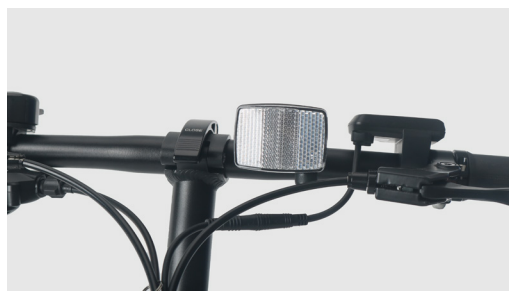
- 5 見やすい位置に回転させ、六角ボルトを締付けます。



- 6 リフレクターのバンド部のネジを付属の工具で少し緩めます。



- 7 適切な位置に回転させ、ネジを締付けます。



- 8 ベルのバンド部のネジを付属の工具で少し緩めます。



- 9 操作しやすい位置に回転させ、ネジを締付けます。

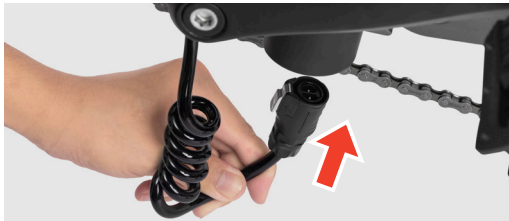


⚠ 注意 ボルトやネジを強く締付けすぎると、バンド部が破損する恐れがあります。

バッテリーケーブルの接続

給電ポートはシートポストの下端にあり、バッテリーはケーブルで繋いでください。

- 1 シートポスト下端のバッテリーのコネクタ(メス)とバッテリーケーブルのコネクタ(オス)の向きを合わ接続します。その際「カチッ!」と鳴ることを確認してください。(慣れるまでは自転車を倒して行うことをおすすめします。またサドルを90°回すと繋ぎやすいです。)



ペダルの出し方

! 注意 指を挟まないよう十分に注意ください。

- 1 ゆっくりペダルを起こします。



ボトルケージ (別売り) やボトルバッテリー (別売り) の付け方

- 1 付属の工具を利用し、ボトルケージを六角ボルトで締めます。



- 2 ポトルバッテリーを差し込みます。



- 3 マジックテープ式結束バンドで固定します。



折りたたみ方

- 1** バッテリーロックで、固定レバーの安全ピンを解除します。

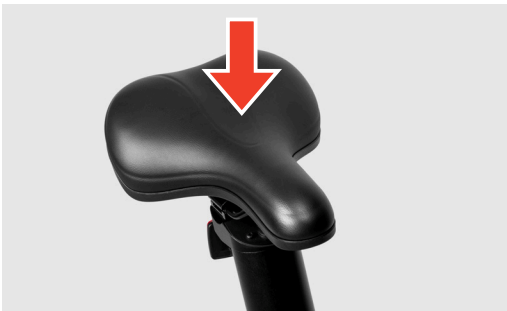


- 2** シートポストをしっかりと握り、シートピンのレバーを緩めます。



シートピンのレバーを緩めると、突然サドル注意が下がることがありますのでご注意ください。

- 3** ゆっくりとシートポストを一番先端に差し込んでから、シートピンのレバーを固定します。



- 4** ペダルを押し込みながら折りたたみます。

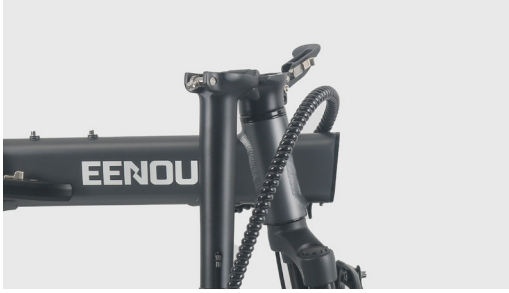


! 注意 指を挟まないよう十分ご注意ください。

- 5** ハンドルポスト固定レバーのロックを解除し、ハンドル固定レバーを開きます。



6 ゆっくりとハンドルポストを折りたたみます。



7 フレーム固定レバーのロックを解除し、フレーム固定レバーを開きます。



8 自転車のフレームを内側に向けて折りたたみます。



9 自転車の持ち運び、折りたたみ時に車体が開かないように固定するマグネットです。



充電について

充電器

本製品専用充電器です。



⚠ 注意

- 充電器を踏んだり、落下させたり、衝撃を与えないでください。
- 濡らさないでください。

内蔵バッテリー充電について

- 1 ほこり防止キャップを開け、充電器の充電プラグを差し込みます。



- 2 電源プラグをコンセントに差し込むと充電します。



- 3 充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了し、満充電状態になると充電ランプは緑色に変わります。



内蔵バッテリーを取り外して充電

給電ポートはシートポストの下端にあり、バッテリーはケーブルで繋いでます。

- 1 シートポストの下端に指を入れ、プラグの上にあるボタンを押しながら下に引けば外せます。(慣れるまでは自転車を寝かせて外すことをおすすめします。)

ポイント:自転車の左側に立ち、シートポストを右に90度回転させれば、バッテリーケーブルを脱着しやすくなります。



- 2 バッテリーロックで、固定レバーの安全ピンを解除します。



- 3 シートポストをしっかりと握り、シートピンのレバーを緩めます。その後、シートポストをゆっくりと引抜いてください。



- 4** 引き抜いたシートボトルは平らな場所に寝かせて、ほこり防止キャップを開けて、充電器を差し込みます。



⚠ 注意

シートポストを壁などに立てかけたまま充電すると、倒れてバッテリーが損傷したり、怪我や壁や床等を破損させたりする恐れがあります。

バッテリーの交換と廃棄について

- 1** 六角レンチでサドルの裏側にあるボルトを取外し、サドルからシートポストを取外します。



- 2** 新しいバッテリー内蔵シートポストに交換し、サドルとシートポストをボルトで固定します。

- 3** 本体に挿込み、シートピンで固定します。

- 4** 不要になったリチウムイオンバッテリーを廃棄する際は、必ずお住まいの地域の回収方法に従って廃棄してください。

⚠ 注意

- ・バッテリーはシートポストに内蔵されており取外しができません。バッテリーの交換時はシートポストごと交換となります。
- ・バッテリーを交換する際は、お買い上げ販売店にご連絡ください。

液晶マルチファンクションメーター

- ①+アップボタン
- ②電源ボタン
- ③-ダウンボタン
- ④バッテリー残量表示
- ⑤現在の速度(スピードメーター)
- ⑥累計走行距離(ODO)→ 区間走行距離(TRIP)→バッテリー電圧(VOL) → 電源を入れてからの累計稼働時間(TI)
- ⑦アシスト数値

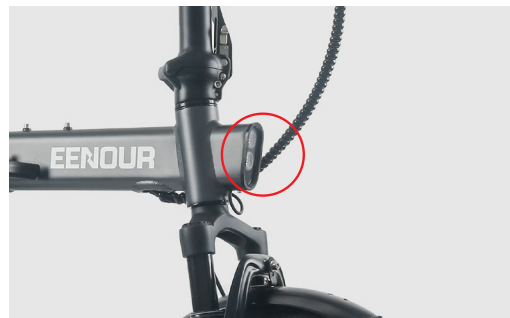


■ 電源のON・OFF

- 1 電源オフの状態から、②電源ボタンを長押しして電源を入れます。
- 2 電源が入った状態で、②電源ボタンを長押しすると電源がオフになります。
- 3 電源が入った状態で、②電源ボタンを押すと、累計走行距離(ODO)→区間走行距離(TRIP)→バッテリー電圧(VOL)→電源を入れてからの累計稼働時間(TI)に切り替わります。

■ ライトの点灯方法

- 1 電源が入った状態で、①+アップボタンを長押しで、前照灯とサイドライトを点灯します。
再度の①+アップボタンを長押し、前照灯とサイドライトが消灯します。



⚠ 注意

- ・ライトはバッテリーから電気が供給されています。夜間走行の際は、まず自転車のバッテリー残量が十分あることをご確認ください。
- ・残量が少ない場合は、アシストレベルを下げてください。
- ・夜間の無灯火は交通ルール違反になります。
- ・下ボタンを長押ししても設定の変化はありません。

■ 電動アシストモード

1～5段階の電動アシストモードがあります。

- 1 電源オンの状態で、上ボタンを押すたびに、電動アシストレベル1→2→3→4→5と低速から高速に切替わります。下ボタンを押すたびに電動アシストレベルを1段ずつ下げます。

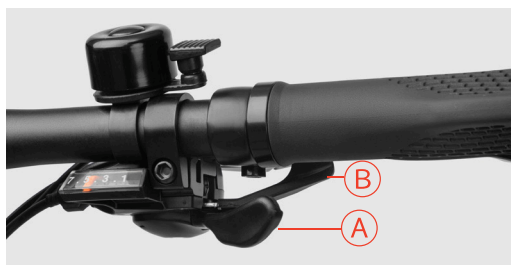
⚠ 注意

- ・アシストレベルが上がるとバッテリーの減りが早くなります。
- ・道路状況や積載重量、ライトを点灯させた夜間での走行などによって走行距離は変わります。
- ・自転車での走行時のアシストレベルは低速から高速へ調整し、適切なレベルを選んでください。
- ・本体内蔵の高速モーターの構造上、低速で走行時にモーターからブーンという音がすることがあります。
- ・道路交通法の基準に適合したアシスト比率を設定しております。スピードが24km/h以上になると、アシストをしなくなります。

ギアチェンジ

バッテリー残量がゼロになっても普通の自転車として走行することができます。

- 1 自転車での走行時にシフトレバーを使用して、7段階のギアチェンジが可能です。
- 2 シフトレバーAを押すと「7→1」の順にギアの調節ができます。シフトレバーBを手前に引くと「1→7」の順にギアの調整ができます。



⚠ 注意

- ・変速操作は、よく練習してください。
- ・シフトレバーを無理に操作し、変速しないでください。(変速機を傷める原因になります。)
- ・変速時は、ペダルを軽く踏みながら変速してください。(スムーズに変速できます。)

■ USBポート

- 1 ほこり防止キャップを開けて、スマホなどを充電可能です。



⚠ 注意

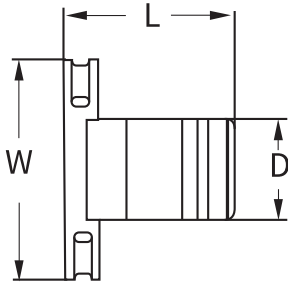
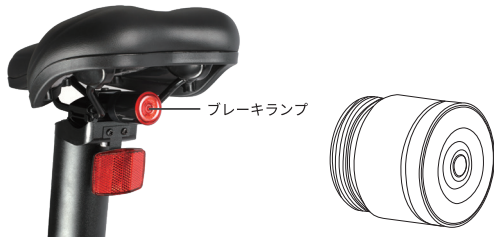
使用しない時はほこり防止キャップを閉めてください。

■ ブレーキのかけ方

ブレーキをご使用になる時は、まず左手の後輪ブレーキをかけてから、右手の前輪ブレーキをかけます。

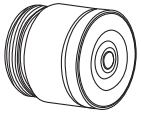


ブレーキランプ



作業モード:常時点灯、呼吸点滅、フラッシュ
 視認距離:200m
 内蔵バッテリー:300mAhリチウム電池
 連続運転時間:約8h
 重量:40G
 防水レベル:IPX6

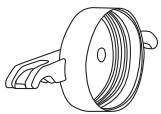
■ 梱包部品一覧



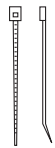
ブレーキランプ



USB充電用ケーブル



サドルブラケット



束線バンド*4

■ 使用方法及び特徴

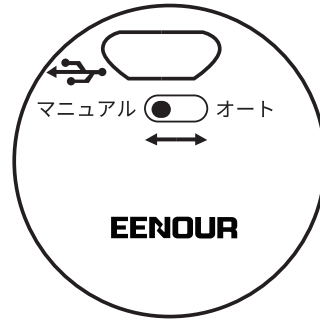
スピードセンサーが搭載、減速度合いに応じて制動灯（ブレーキランプ）を点灯させます。同時、L1は明るさと振動を感知して自動に点灯します。

点灯モードの切り替え方法

長押し3秒	オン*オフ
クリック*3	常時点灯、呼吸点滅、フラッシュに切り替わります。

オート/マニュアルモード


















下の写真の通り、L1は切り替えスイッチで作業モードを制御します。



⚠ 注意

- ブレーキランプはオートモードで振動により点灯されます。
- 点灯モードは記憶され次回もそのモードで点灯します。
- 暗くて振動がある時に点灯しない場合はバッテリーの寿命にかかっています。

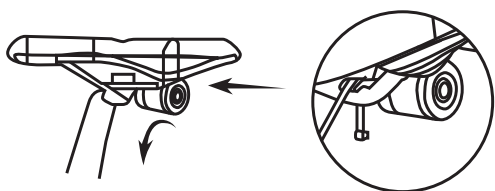
■ 運転機能特徴

運転条件		マニュアル*オート		
 走行中	 +	 5秒遅延	 点灯	 消灯
 走行中	 +	 暗い環境	 点灯	 消灯
 静止状態	 +	 遅延40秒	 点灯	 消灯
 減速時		 点灯		

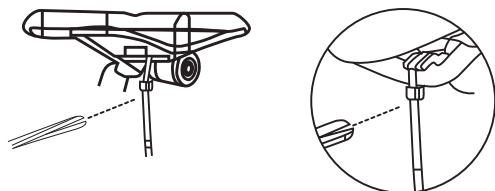
※マニュアルモードの場合はボタンで消灯しかありません。

■ 付け方

1. サドルブラケットをサドルの下に置きます。



2. 束線バンドで固定します。



ご注意：ブレーキランプはオプション品（別売）です。

■ 充電について

電池切れた時、反時計回りにブレーキランプを外し、付属の USB ケーブルで充電します。満充電は約 2 時間で、連続運転時間は約 8 時間となります。

※充電時、ブレーキランプが呼吸点滅の状態となります。充電完了後、常時点灯になります。

■ バッテリー残量通知について

残量が少ない場合、点滅してから消灯します。充電完了後、常時点灯になります。

チューブバルブについて

本製品のチューブバルブは、英式バルブを採用しています。ポンプも一般的なフロアポンプ(空気入れ)で空気を補充できます。



車体番号の確認方法

車体番号は防犯登録に使用する番号です。車体番号はトルクセンサーの隣に打刻されています。



防犯登録に必要な書類などは下記の通りです。防犯登録を受ける場合、事前に車体番号を販売証明書に記入し、下記の書類を防犯登録を行っているお店へ持参しご提示ください。

- ・ 本体
- ・ 保証書
- ・ 公的証明書 (運転免許証、保険証など)
- ・ 登録料 (都道府県によって異なる)

⚠ 注意

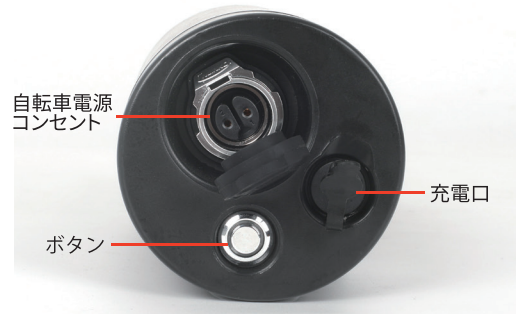
- ・ 日本以外の国籍の方は外国人登録証明書
- ・ 中古車の場合は前所有者の登録カードまたは譲渡証明書

最大積載重量について

本製品の最大積載重量(乗員の体重と荷物の積載重量の合計)は100kgです。最大積載重量を超えないようにしてください。

ボトルバッテリー(別売り)の使い方

- 1 ボトルバッテリーの充電口に充電器を差し込んで、充電します。



- 2 ボトルケースでボトルバッテリーを固定し、コンセントを差し込んで、自転車へ給電します。



※バッテリーケーブルは本体の左側(チェーンの無い側)を通して引っ張ります。



3 ボトルバッテリー底面のボタンを押し、青く光れば接続完了です。



4 ボトルバッテリー上面のキャップを開けるとUSBポートがあります。



5 USBポートにUSBを差し込むことでスマホなどの充電ができます。



⚠ 注意

- ボトルバッテリーには鍵が付いていません。防犯のため降車の際は持ち歩いてください。
- ボトルバッテリーを踏んだり、落下させたり、衝撃を与えないでください。
- 故意に濡らさないでください。

よくあるトラブル

症状	原因	対処
電源を入れてもモーターが動かない	ブレーキをかけている	発進時はブレーキをかけない。ブレーキレバーがしっかりと戻っていることを確認
	バッテリーケーブルが正しく接続されていない	バッテリーケーブルをバッテリーにしっかりと接続
	コードの接続部が緩んでいるか外れている	しっかりと接続する
充電後 1 回に走れる距離が短い	タイヤの空気圧が低下している	タイヤに空気を入れる
	充電が十分ではない	充電器のランプが緑になるまで充電をする
	充電器の故障	充電器の充電プラグなどに接続不良がないか確認
	バッテリーが劣化または破損している	バッテリーの交換
	坂が多い場所や逆風の場所を走行している	アシストレベルを下げる
	ブレーキを頻繁にかけている	アシストレベルを下げる
	積載量が多い	積載量を減らす アシストレベルを下げる
充電ができない	充電器に充電プラグがしっかりと挿込まれていないか外れている	充電プラグをしっかりと挿込む
	充電器内部のヒューズが切れている	お買い上げの販売店へ連絡
	充電器内部の配線が切れている	お買い上げの販売店へ連絡
メーターの表示がいつもと違う	誤って操作した場合、もしくは設定ミスがあったからです。	お買い上げの販売店へ連絡
その他の故障	上記以外の症状	お買い上げの販売店へ連絡 お客様ご自身での分解修理を決して行わないでください。保証が受けられなくなります。
	モーター、制御装置、充電器、バッテリーなどが破損した場合	

保証内容について

本規約は、株式会社 MK JAPAN(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品到着日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。

(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。

ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

(1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

(2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

(3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

(4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

(5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

(6)弊社が認めていない改造をされたもの

(7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの

(8)注意を怠った結果に起きたもの

(9)薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの

(10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、鏽、樹脂部品の破損や劣化等)

(11)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品

(12)使用することで消耗する部品または劣化する部品(パンクなど、一般自転車と変わらないパーツは、お近くの自転車屋さんで修理する事をお願いしています。)

(13)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

以下に示すものを消耗部品とします。

ディスクブレーキ、ブレーキパッド、タイヤ、スポーク折れ、モーター水没、バッテリー水没、トルクセンサー水没、リアディレーラー(変速機)損傷、チェーンリング歪み、その他これに類する部品。

(14)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリでの供給しかできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

主要諸元

型番	C1
商品名	EENOUR 電動アシスト自転車C1
タイヤサイズ	16inch(6061アルミニウム合金)
本体サイズ	展開サイズ 全長約133×全幅59.5×高さ109cm
	折り畳みサイズ 全長約70×全幅約43×高さ66.5cm
重量	20.4kg
耐荷重	100kg
アシスト	5段
ギア	7段
アシスト上限	24km/h
バッテリー内蔵シートポスト	容量:36V 7800mAh 重量2kg(サドル部分含む)
	サイズ:約H700mmXφ50mm 充電時間:約4~5時間
ボトルバッテリー(別売)	容量:36V5200mAh 重量:約1.26kg
	サイズ:H240mm×上部の55mm×下部中70mm 充電時間:約3~4時間
折りたたみ	フレーム部分 / ハンドル部分 / ペダル
定格出力	350W
定格電圧	36V
入力	42V 2A
前照灯照度	90LUX (5m測定)
前照灯防水レベル	IPX4
推奨身長	145~190cm

顧客満足度を上げるため、製品の改良は行っています。

※取扱説明書に最新情報が反映されていない場合がございます。ぜひご理解・ご了承ください。

■ 通常時



■ 折り畳み時



※上記のサイズは、測る位置により若干の誤差があります。

販売証明書

本書に記載した各事項に適合する折り畳み電動アシスト自転車 C1は、当社(店)が下記の者に販売いたしました。



販売日 年 月 日

販売元	会社名	株式会社ジャパンストライド
	住所	奈良県生駒郡安堵町大字岡崎367番地10 LF奈良4階 N402
	電話番号	050-3122-4516

購入者	氏名 カタカナ	
	住所	
	電話番号	

[販売折り畳み電動アシスト自転車 EENOUR C1の仕様]

販売車両	製造メーカー	EENOUR
	車体番号	
	定格出力	350W
	カラー	
	タイヤサイズ	16インチ
	備考	

<お客様へ>

この度は、当社(店)の電動アシスト自転車をお買上頂き誠にありがとうございました。
本証明書は、当社(店)販売商品の電動アシスト自転車をご購入いただきましたことを証明する物です。防犯登録を受ける際にご提示ください。

※防犯登録を受ける場合、本紙の他に登録者の身分証明(免許証、学生証、保険証等)・車体番号・登録料が必要です。

EENOUR保証書

保証開始日	保証期間
年 月 日	お買い上げ日から1年間

お買い上げ日記入欄： 年 月 日

注文番号：

販売店/販売会社：

保証記録：

✉ support@eenour.com



株式会社
ジャパンスライド



Made in China

